

炭焼き・流木楽校



白川湖畔交流ネットワーク

飯豊町 飯豊町教育委員会 中津川むらづくり協議会 中津川財産区管理会
(株)緑のふるさと公社 財団法人 山形県みどり推進機構(源流の森事務所)
国土交通省 最上川ダム統合管理事務所 白川ダム管理支所

白川湖畔交流ネットワークとは・・・

白川ダムの流域である飯豊連峰に囲まれ、美しい景観と恵まれた自然をもつ白川湖畔周辺には、源流の森の自然学習施設やオートキャンプ場、テニスコート、パークゴルフ場、コテージ等の宿泊施設が整備されています。また、湖岸公園や周辺施設ではダム完成後から継続してイベントが開催され、多くの人々が訪れる地域となっています。今後、「自然志向」や「総合学習」などの広まり等により、自然環境のすばらしさや「水源地域」としての役割を広く広報していく重要性が従来に増して高まっていると思われます。

それらに適切に対応していくためには、本地域にある各機関が連携を図り、効果的に水源地域、地域文化、自然の重要性を一体的に考えていくことが重要で、効果的に本地域の環境保全に寄与していくものと考えられます。このような趣旨から、白川ダム湖周辺にある各機関相互の情報交換や連絡調整を行うために「白川湖畔交流ネットワーク」を設立しました。

今後、白川ダム湖を軸として豊かな自然を利用した活動を展開していく予定です。

流木って何？

流木(りゅうぼく)とは

自然の営みによって山から川に流れ着いた木です。

流木と木はどう違う？



木

感じる違い



流木

流木は長い間水にもまれ、樹皮がはがされ、表面は丸みをおびてなめらかになり、見た目にも素朴な風合いが感じられます。生物である木の性質を残した流木の感触は心を落ち着かせるものがあります。流木は見て楽しむだけでなく、さわって楽しんでみましょう。

どうして流れるの？

木や倒木が土砂くずれによってなぎ倒され川まで押し流されます。大雨や台風によって土砂くずれが起きやすくなります。例えば、木が混んでいる森では、根の張りが弱く、また太陽が地面まで届きにくいことから下草が育ちにくくなり、土壌ももろくなります。特に傾斜が大きいそのような森では、森林の地形やその管理にも問題があるようです。

昔、流木は生活必需品

江戸時代以前の電気もガスもなかった時代、木材が燃料用として生活に不可欠でした。そして、川にダムはなく、自然の力によって大量の流木が海まで流れ出ていました。浜辺や島の人々は流木を「寄木」と呼び、燃料としてだけでなく、家具や家の修理にも流木を使っていました。山の木には謹んで斧を入れず、寄木拾いが日課になっていました。

地元では「川流れ」

中津川のような山林の多い地域では、競って集めた浜辺の地域ほど、流木は必要とされませんでした。昔から「川流れ」と呼ばれていました。

炭って何？

炭(すみ)とは

木材を空気を少なくして燃やします。全部、燃やさないで、組織は残しながら炭化して固まったものです。

炭の中はいっぱい穴があいています。

炭には、ほんとうに、**小さい穴がたくさんあいています**。そして、その穴の大きさはいろいろと違います。

炭はいつごろから使われた？

今から30万年前に使用されたとされています。旧石器時代の頃と推定されています。想像もつかない、昔からあったのですね。

炭にはどんな種類があるの？

炭には、大きく分けると、**白炭(はくたん)**、**黒炭(こくたん)**の二つです。基本的には似ていますが、造り方が異なります。**この窯は白炭(はくたん)用の窯です**。

炭焼き楽校の記録

10月12日 開校式

待ちに待った開校式。今日は手ノ子小学校の5年生が集まってくれました。午前は流木、午後は炭焼きと両方体験してくれました。

10月23日

今日の参加者は、若い大人が中心で窯出しをしました。炭焼きは非常に労力を使う仕事なので、若いパワーは頼もしい限りです。

11月6日

今回は子供たちも入って少人数での窯出しとなりましたが、炭焼き職人の後藤さんの指導を受けながら、みんな手際よく炭を出していきました。

11月13日

炭焼き楽校が始まって1ヶ月。寒さも増してきて、薪割りといった外での作業は大変になってきました。

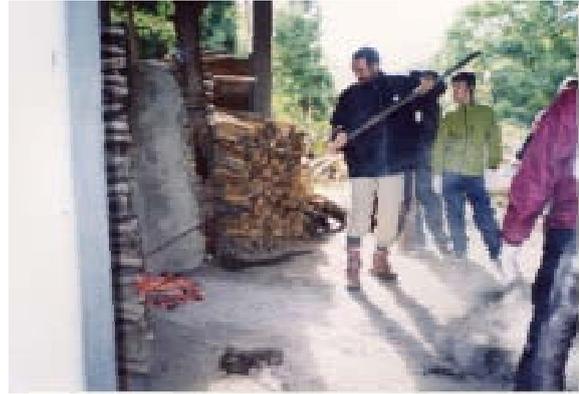
12月4日

12月だというのに雪が無いというめずらしい年ですが、飯豊山からの吹き下ろしの風が冷たく体にあたります。寒さに負けず今日も炭を出します。

12月11日 最終日

炭焼き楽校最終日。約2ヶ月にわたって焼いてきた炭焼きも今日が最後です。流木楽校の参加者にも窯出しを見てもらいました。

総参加者数約150名



炭焼き楽校に参加しての感想

- ・ぼくは熱い火でびっくりして炭を作るにはすごい火の力と木が必要なんだと学んだ。
- ・自然の木からこんなにたくさんの炭ができるとは思っていませんでした。
- ・今回初めての体験で非常にわくわくドキドキでした。少し少年に戻ったよう。
- ・すべてが初めての体験で子供達も夢中でがんばっていたようです。
- ・みなさん親切で楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・炭焼きの作業は大変だ。機械化できれば日本のエネルギー源もなんとかなるかも。
- ・おじちゃんのやった仕事を子供達に見させてあげられて良かった。

流木楽校の記録

10月12日 開校式

炭焼き楽校と一緒に開校式をしました。
流木じいさんのスライドをみんなで見ながら流木の成り立ちをわかりやすく理解する事ができました。

10月23日

流木楽校では、流木アートを作るだけでなく、流木から自然のサイクルを学ぶことを大切にしています。毎回必ずスライドショーで流木じいさんのお話をします。

11月13日

今日は流木でミニチュアのイスづくりに挑戦しました。自然のままのかたちを生かしてつくるイスは世界に一つしかないものに仕上がります。

11月20日

今回は人数が少なかったのですが、流木を探しにいってみました。あいにくの雨で地面が濡れていましたが、いろんなかたちの流木をみつけたよ。

12月11日 最終日

今日は最終日にもかかわらず、白樺地区の婦人学級からたくさんの参加者が集まりました。それぞれ自分だけの流木アートをつくりました。みんな手際が良くて、余った時間で炭焼きの窯出しも見学することができました。

総参加者数約150名



流木楽校に参加しての感想

- ・時間が経つのが早かった。そのくらい楽しかったです。
- ・流木でこんなに素敵にできあがり、改めて流木を見直しました。
- ・以前から興味がありとても楽しみにしてきました。他の市町村の方と楽しく交流ができ、良い経験をさせていただきました。
- ・自然のものをいかに活用してできるか想像しながらとても楽しくできた。
- ・流木を使ってはじめて作ったのですが、木がとても柔らかく感じました。
- ・ただの流木と思ってもアイデア一つでいろんな作品ができることに感動しました。